

小学部 ことばかず 「しりとりのだいすきなおうさま」



字が書けるようになりたい
たのしくべんきょうがしたい



たのしみながら、ことばに触
れる活動をしたい

① 第一次 読み聞かせ

まずは絵本「しりとりのだいすきなおうさま」を繰り返し読みました。この本の醍醐味は、わがままばかりを言う王様をけらいが見返すシーン。「トースト、トマト、トースト、トマト…」の繰り返しに期待感を持たせることです。はじめは反応が少なかったですが、だんだんと楽しみがわかり、王様や家来になってセリフを真似する姿も見られました。しりとりの意味を理解する機会にもなったと感じています。



② 第二次 しりとりカード

絵本の内容に見通しが持ててきたら、しりとりカードを用意して、実際の絵本と同じ流れでしりとり遊びをしました。トースト、トマトのシーンになると、子ども同士で笑い合う姿が印象的でした。

しりとりに慣れてきたら、少しレベルアップをして、絵本以外の食べ物しりとりのカードを用意しました。カードをよくみて、選んでいる姿がありました。



③ 第三次 劇遊び

しりとりのルールや楽しさが理解できるようになったので、最後は教師が衣装を着て王様役になり、劇遊びをしました。子どもたちは家来役。みんなで相談したり、「トースト、トマト」で王様を困らせたりして、楽しく活動する様子が見られました。この取り組みが文化祭の発表にもつながりました。楽しみながらしりとりを知るきっかけになり、最後はしりとりプリントにも挑戦できるようになりました。

